

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	1196501140		
法人名	株式会社ツクイ		
事業所名	ツクイさいたま岩槻グループホーム		
所在地	埼玉県さいたま市岩槻区本宿126-6		
自己評価作成日	令和 4 年 2 月 20 日	評価結果市町村受理日	令和 4 年 4 月 1 日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/11/index.php">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/11/index.php</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	有限会社プログレ総合研究所
所在地	埼玉県さいたま市大宮区大門町3-88 逸見ビル1階
訪問調査日	令和 4 年 3 月 4 日

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

ツクイさいたま岩槻グループホームでは、お客様に本当のご自分の家のように感じて頂けるように、思いやりと優しい言葉がけでお手伝いをしております。自分の親や身内だったら、どのように過ごしてもらいたいのか、どのように介護してもらいたいのかを職員全員で考えてケアに生かしています。散歩は毎日行っています。午後はレクリエーションや体操などをします。また、出来る方には、家事と一緒にやっていただくなど、役割を持って生活して頂いています。また、敷地内に畑があり、キュウリやトマト、ブロッコリー、ピーマンなどの野菜を作っています。皆様、昔の事を思い出して楽しんで頂いています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

開設一年半を迎える当ホームは、コロナ禍での事業スタートでもあり、自治会や住民への挨拶等も含め多難だったと思われるが、管理者他良く対応がなされている。建物内に、地域交流室を設けており、自治会や婦人会代表者へは無料で利用を提案しており、アフターコロナでの交流に大きな期待が持たれる。開業時に管理者は、フロアリーダーとも相談し事業所理念を作っており、今まで家庭で出来ていたことは続けてもらうとして、「普通の家庭」を意識しての運営が始まっている。モップ掛け掃除やキッチンでの茶碗洗いで利用者それぞれの役割を作り、茶碗を洗う利用者からは「洗うから持ってきて」の声が掛かるようになってきている。テラス越しに見えるオーナー宅は、昔ながらの農家のたたずまいで利用者にも喜ばれている。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. くしinnshisteno 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「笑顔あふれる温かい家庭をきずきます」という理念を共有して、実践につなげている	事業所理念は、開設時にリーダー達と家庭を意識して決めており、各ユニットに掲示している。家で出来たことは続けてもらっており、ビールを望む人には家族と相談しノンアルコールビールを提供している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に入り、回覧板なども回してもらい、地域の方と交流している	開設時に町会長他挨拶回りを行い、地域交流室があることを歓迎して貰った。アフターコロナで婦人会等にも使ってもらう予定である。オーナー宅が隣で、ネギやユズ等々を頂き、常に声掛けはある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域連携室を設置しており、コロナ収束後に行う予定		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍で、書面による運営推進会議を行い、報告している	書面開催とし、議事録を地域包括支援センターや町会長、婦人会の代表者及び家族へ送付している。コロナ禍のため、面会の方法やワクチン証明書などの質問には丁寧に答えている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の担当者とは、疑問やわからない事などがあると気軽に質問させて頂いており、密に連絡をとらせて頂いている	開設手続きでは頻りに訪問しており連携は取れている。ワクチン接種の状況や、空室を利用してのショートステイ等、相談し合っている。職員向けのPCR検査案内や事故報告等の行政報告はWebで行っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束禁止委員会があり、2カ月に1回開催している。また、年に2回以上の研修を行い、記録も残している。全職員で、グレーゾーンも含めて、身体拘束をしない介護をしている。	ツクイ本社の身体拘束禁止の指針をフロア会議で確認し合っている。2ヶ月毎に身体拘束・虐待防止委員会を開催し、思い当たる事が無いかなどや、グレーゾーンが重ならないようにと話し合っている。敬語の大切さを重んじ、互いに注意し合う環境を作っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止についても身体拘束禁止と同じように取り組んでいる。年2回以上の研修を行い、記録も残し、虐待防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	やまぶきユニットの方、お一人、入居後に成年後見人を付けた方がいる。今後も制度を活用していきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、まず、重要事項を説明し、十分ご理解頂いた上で、契約書にサインを頂いている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	コロナ禍で、運営推進会議も開けないので、月に1回写真入りのお手紙などでご様子を報告しており、その時やそれ以外でも何かあった時は、ご連絡を取るようになっており、その機会にご要望も聞くようにしている。	請求書を送付する際には近況報告として写真を添え、生活が分かり易い工夫がされている。機会あるごとに電話での意見交換を行い、夜間のオムツ利用を求められたが座位可能なことを説明し、ホームの姿勢を話した。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回ミーティングと研修会を開いており、職員の意見や提案を聞いている。また、雇用契約の更新時にも面談をし、意見などを聞いている。	月一回のミーティングでの意見は、利用者の支援に関することが多い。個別面談では働き易い環境づくりを話し合うこともある。食事ではお盆を使わず配膳していたが、利用者のお手伝いからお盆使用とした。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	本社が外部の業者に委託し、職場環境などのアンケート調査などもあり、無記名WEB回答で、本音を聞けるようになっている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月々の研修以外に、E-ケアラボを取り入れており、全職員の学ぶ機会を確保している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業他社が開催して、オンラインでの研修や講習会への参加の機会がある。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメント実施時に生活歴や習慣、好きな事、要望等をよくお聞きし、プランに取り入れ、関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族とは、連絡を密にとり、不安や要望に耳を傾け、関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族とも話し合い、例えば訪問マッサージに来てもらい、機能訓練などもやってもらうなどしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除、洗濯物量、茶わん洗いなど、出来る事をやって頂き、役割を持って生活している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナ禍で面会禁止の中でも、どうしても必要な時は、臨機応変に対応するなど、共に本人を支える関係づくりに努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍で、馴染みの場所にお連れすることは出来ないが、お友達から電話がありおつなぎして、楽しくお話している方もいる。	雑祭りの8段飾りで立体的なポストカードが送られ喜ばれた人がある。編み物の好きな人はマフラーを自身で編まれたり、パターゴルフを廊下で楽しむ人や、ピアノの鍵盤を持参され皆の前で演奏する人もある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が、一緒にレクリエーションをやったり出来るように支援している。隣の席同士の方で気が合い、仲良くしている方もいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても、何かの時には連絡をとり、支援に努めている。		
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人一人の暮らし方に合わせ、意向を尊重している。その日の気分散歩に行くか行かないか決めたり、不定期な時間でも、コーヒーをお出ししたりしている。フロアにいる方も自分の部屋でゆっくりしている方もいる。	実態調査結果を周知し、入居後の気付きも記録して共有している。ドリップコーヒーを好む人は、穏やかな中に様々な会話もある。入浴時やソファで話し込むと知ること多い。難しい人は、表情や動作で確認している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今までの暮らしで、朝はパンという方には、毎朝パンをお出しするなど、今までの暮らしを継続出来るようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの有する力に合わせて、茶わん洗いや洗濯物たたみなどをして頂いている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画書を作成する時には、十分にアセスメントし、ご家族にも必ず希望を聞き、現状に即した計画書を作成している。	入居時は暫定プランで1カ月を通し、カンファレンスを経て本プランとしている。計画作成担当者は、居室担当者他のモニタリング結果と、医師や看護師、家族の意見やアドバイスも受け計画書を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	スコープ・オンラインというシステムにすべてのケアや情報を打ち込み、管理し、職員は認で共有し、実践に生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々生まれるニーズに対して、柔軟に対応している。タバコをやめられない方は、タバコ。飼っている犬と一緒に暮らしたいという方にも前向きに検討している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	散歩などで、ご近所に野菜や花を頂いたり、交流を楽しんでいる。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問医にかかっている方も、ご家族が今までの所にお連れしている方もいるが、連携をとり、適切な医療を受けている。	訪問診療医が月2回来館し、直接雇用の看護師も同伴しており状況把握が出来ている。夜間も専用ダイヤルで24時間オンコール体制である。他専門医へは提携医が紹介状を書いてくれ安心である。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師への連絡ノートがあり、情報や気づきを直接看護師へ伝えられるようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は、病院のソーシャルワーカーと密に連携をとり、早期の退院に向けて情報共有をしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	在宅クリニックが24時間対応なので、看取りもやっている。家族とも十分に話し合い、お二人の看取りを行った実績がある。	入居時に重度化指針で確認し、終末期への過程等を説明のうえ常時の医療が必要になれば医療施設等への転居を話している。開設以来2名を看取っており、家族を含めて提携医との話し合いも度々である。職員向けの看取り研修も実施している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時に備えて、訓練や研修を定期的に行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時の避難のための研修を行っている。隣がオーナーさん宅なので、何かの時にはご協力頂けるようになっている。	年2回の避難訓練を行い、通報・避難・消火の訓練としている。コロナ禍ため消防署員の来館はない。近隣のオーナーや薬局へは案内を出している。玄関わきの倉庫に本社支給の備品を格納している。	被災時用の備蓄品が一日相当であることより、利用者の身体状況も加味しての必需品や、水・食料他は三日分以上の確保が望まれる。本社との検討を願いたい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お話する時は、必ず敬語を使い、人格を尊重した態度で接するようにしている。	個人情報には鍵付きロッカー、パソコンはパスワード管理されている。人生の先輩として慣れ合うことなく敬語を使い、接遇マナー研修を通して徹底され、プライバシーの確保についても共有されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員の都合で物事を進めず、自己決定して頂くようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースでその日を過ごして頂いている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	アマゾンで、ブレスレットやネックレスを買ったりして、おしゃれを楽しんでいる方もいる。また、ネイルアートなどもやっている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	両フロアにおいて、何人かの方が、準備や片付けに関わってくれている。取り分けしてくれたり、運んでくれたり、洗い物をしてくれたりしている。	盛り分けやもやしの芽とり、食器洗いでは「洗うから持ってきて」の声が掛かり自身の役割とされている人もある。希望を受けてメニューの変更も出来、餃子やハンバーグを買ってきて喜ばれることもある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の食事量や水分量がオンラインシステムで記録されているので、それを確認し、足りない時は声がけしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、全員にお声がけし、口腔ケアをして頂いている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレの定時誘導を心掛け、出来るだけトイレで排泄してもらえているようにしている。	排泄チェックはタブレット管理とし、一覧表で確認が出来ている。相談しながらリハビリパンツから厚めの布パンツにして喜ばれたこともある。全介助で退院の人は、車椅子から座位が取れればトイレ排泄としている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	オンラインシステムで、何日便が出ていないかも一目でわかるので、便秘がちな方には、ヨーグルトや牛乳をお勧めするなどしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴の曜日や時間はなるべく希望を聞き、それに沿えるように支援している。	基本は、週二回の入浴だが希望を受け増やしたり夏場対応もある。入浴嫌いな人へ「体重を計りましょう」と脱衣室へ誘導して進めることがある。浴槽で会話を楽しんだり、入浴剤や菖蒲湯、ユズ湯は喜ばれる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	眠れないとおっしゃるときは、温かいミルクをお出ししたり、ゆっくりお話をしたりして、安心して頂けるようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬時は、2名で確認し、飲み込みまで見守りしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	特別に食べたい物をお聞きした時は、職員が買って来ている。また、外食が出来ないので、リクエストにお応えした昼食などもお出ししている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍で、遠方へは難しいが、散歩は毎日行って、季節を感じて頂いている。	職員の自宅畑へ芋掘りに出かけたり、コスモス見学等ドライブで出かけたりしている。また、ホーム内の畑でトマトの成長を楽しみ、近場の散歩をしている。法人のデイサービスからワゴン車を借りての車窓見学等々、コロナ対策下での工夫がある。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を安心のために持っている方もいる。コロナ禍が終われば、買い物の支援も行う。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族と電話で話したり、手紙のやり取りをしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具も長く座っていても疲れない椅子を使用しており、壁やテーブルなども、工夫し、快適に過ごせる空間を作っている。	コロナ対策で換気を励行し、手摺の消毒などは利用者の協力もある。リビングは陽当たりが良く、テラス越しに、昔ながらの農家の佇まいであるオーナー宅が見える。季節の共同作品として、折紙で作ったお雛様が飾られている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人で、ゆったりマッサージチェアを利用する方もいる。気が合う方をお話したり、窓際で景色を見ながら、日向ぼっこをする方もいる。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室に置く家具や必需品は、ご家族と相談しながら、用意している。家にある、使い慣れた物を持ってくる場合が多い。	ベッドとクローゼット、カーテンが備えてあり、縫いぐるみや造花、昔の写真等々で温かみのある部屋作りがある。低めのタンスを置き、テレビ台にしたり動線確保としている。ラジオを楽しむ人も複数ある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	洗濯が終わったら、職員と一緒に干しに行くなど、安全に出来るようにしている。		